



## チャレンジ! おおいた国体



# 市民が支えた おおいた国体



吉本 幸司 市長

10月7日、チャレンジ! おおいた国体が盛会のうちに閉幕しました。大分県は42年ぶりの総合第1位、天皇杯とあわせ皇后杯を獲得しましたが、選手の皆さんの活躍には大きな感動をいただきました。津久見市から出場された選手団では、剣道成年女子団体が監督兼選手として出場された西 佳子さんが優勝するなど、多くの選手が華々しい活躍をしたところです。

9月27日の総合開会式では、300名の津久見扇子踊りが九州石油ドームで披露され、観客の皆さんから「素晴らしい」「美しい」という声をたくさんいただき感動いたしました。

また、ボクシング競技と軟式

野球競技が津久見市で開催されましたが、市民の皆様には会場まで応援に来ていただき感謝申し上げます。雨の影響で一部日程が変更になりましたが、市民の皆様のご協力で無事終了することができました。全国各地から来られた選手・役員をはじめとする競技関係者や観客の皆さんからは、大会運営やおもてなしの活動、きれいに清掃されている街並みなどに感謝やお褒めの言葉をいただいたところです。

これも、多くのボランティアの皆さん、津久見高校をはじめとした生徒の皆さん、そして市民の皆様のご協力のおかげであると心から感謝するところです。

私も、今回の国体で県外市外の方から多くの言葉をいただきましたが、津久見市民の真面目さやおもてなしの心、団結して一つのものに取り組んでいくという素晴らしい市民力に改めて気付かされました。今後、こうした財産を市政に活かしていきたいと思えます。

選手、大会関係者、市民の皆様、本当にありがとうございました。



市民野球場に駆けつけた市民の皆さんの声援は、この会場で全試合を戦い抜いたオール大分チーム(軟式野球競技)を4位に押し上げる原動力の一つになりました。